

# みる

news from  
Yotsukaido  
city council

No.222

# ギカイ



市議会 HP

四街道市議会だより / 令和8年 / 3月定例会  
<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/>



四街道市議会議員

# 議会だよりのリニューアル！

～「手に取りたくなる紙面」を目指した2年間のあゆみ～

広報広聴特別委員会では、「もっと市民の皆様にも読まれる、親しみやすい議会だより」を目指し、2年の歳月をかけて全面的なリニューアルを行いました。

そこで、リニューアルに至るまでのストーリーと新たな工夫をご報告いたします。市民の皆様と議会をつなぐ大切な架け橋として、情報発信の充実を図ります。



写真やイラストの活用で  
内容を分かりやすく

## STEP 1：他市への視察と現状課題の洗い出し

まずは先進的な広報を行っている他市議会への視察を実施しました。優れたレイアウトや企画方針を直接学び、本市のこれまでの議会だよりが抱える課題を徹底的に洗い出しました。

## STEP 2：広報広聴特別委員会での徹底した議論

委員同士で何度も激しい議論を交わしました。時には意見がぶつかり合うこともありましたが、すべては「より良い議会だより」を作るため、妥協のない協議を重ねました。

## STEP 3：新デザインの具体化と決定

議論の内容をもとに、実際のレイアウトや構成の具体化を進め、ようやく新しい紙面の形が決定しました。

思わず手に取りたくなる新鮮な表紙デザインと、パッと見てわかるレイアウトに：写真や図解を増やし、視覚的に分かりやすい構成にしました。

文字を大きく、言葉を優しく：専門用語をできるだけ避け、どなたでも読みやすい文字サイズに変更し、横書きを主体にすることを決定しました。

議員の活動がより身近に：一般質問や委員会の報告など、議会で「何が決まったのか」がダイレクトに伝わるよう記事を工夫しました。



二次元コードを多く配置することで実際の映像を見やすく



新しくなった  
「議会だより」を、ぜひ隅々までご一読ください。

## 主な議案の概要及び委員会審査概要

第1回（3月）定例会では、令和8年度一般会計・特別会計予算、専決処分の承認、条例の改正などの議案36件、発議案3件、陳情1件の審議や議決が行われました。

主な議案と委員会での審査内容は次のとおりです。（議決結果一覧は7ページに掲載） 上程議案・議決結果



### 総務常任委員会

#### 議案第27号 令和7年度四街道市一般会計補正予算（第8号）

全員賛成

歳入歳出それぞれ449,634千円を追加し、40,420,942千円とするもの。

**質** 自主防災組織育成事業のコミュニティ助成事業助成金330万円の減額について、令和7年度分の自主防災組織への助成事業として申請した3団体が、いずれも助成金交付対象団体として採択されなかったため減額することのことだが、原因を把握しているか。

**答** 県がとりまとめた上で、県内で何団体が採択されることになるが、採択されない原因についてはオープンになっていない。前回採択されたのは令和5年で、その前が令和3年であり、2年ほど採択されていない状況である。

**質** 区・自治会活動推進事業の市民自治組織助成金296万円の減額について、詳細な説明を伺う。

**答** 年々下降傾向にある自治会加入世帯数の減少とあわせて、区域内世帯数や区域内加入世帯数を改めて精査した結果として減額となったものである。

#### 議案第3号

#### 四街道市地区集会場設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

全員賛成

指定管理を終了し、みのり集会場を廃止するもの。

**質** みのり集会場を解体することのことだが、解体後の地域の集会機能はどのように維持されるのか。

**答** 香取神社の脇に建設されている鹿渡二区自治会館でコミュニティ活動を形成することになる。

**質** 解体費用はどの程度を見込んでいるか。

**答** 既に工事請負契約を取り交わしており、請負金額は、税込みで760万1千円である。

#### 議案第4号

#### 四街道市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

公示事項を、インターネットの利用により閲覧できるようにするとともに、庁舎に設置されたコンピュータのディスプレイなどへ表示できるよう規定を改めるもの。

**質** 不利益処分の際に実施される聴聞及び弁明の機会付与に関する通知の公示送達について、今回の改正により、市役所の入口に設置されている掲示板への掲示は廃止するということがか。

**答** 今回の改正を踏まえ、公示送達については、ホームページ上でも公表することとし、市の掲示板については引き続き掲示する運用を想定している。

## 議案第 27 号 令和7年度四街道市一般会計補正予算（第 8 号）

全員賛成

歳入歳出それぞれ449,634千円を追加し、40,420,942千円とするもの。

**質** 道路管理事業の道路用地管理委託料1,677万6千円の減額について、詳細な説明を伺う。

**答** 当該事業は、主に市内各地の道路用地の草刈りを1工区と2工区に分けて実施しているが、請負先が変わったことや入札の競争の結果による執行残の積み上げにより減額となったものである。

**質** 次期ごみ処理施設整備事業の土壌汚染対策比較検討業務委託料490万6千円の増額について、詳細な説明を伺う。

**答** 土壌汚染対策法第14条の申請をするにあたり、要措置区域に該当すると想定される区域について、どのような工法が適切であるかなどの対策を、今後、県と相談して進めていくための事前準備として実施するものである。

**質** ごみ処理施設周辺対策事業で、委託料と工事請負費を合わせて、1,083万5千円の減額となっているが、地元住民に対してどのような説明を行ったのか。

**答** 昨年に中止を決定してから、吉岡区の役員、今年には吉岡区総会で説明を行い、また、吉岡新開1号線については、待避所という形で整備を進めていくといった説明で概ね理解を得ている。

## 議案第 8 号 四街道市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

災害その他非常の場合における給水装置工事について、工事を行うことができる事業者等の特例を定めるもの。

**質** 本市が被災し人手が足りない場合、応援体制はどのような取り決めになっているのか。

**答** 原則として、本市で被災した際は、市が指定する工事店が工事を行うが、人手が足りず応援要請が必要となった場合には、他の事業者が指定した工事店においても工事を行うことができるよう条例を改正するものである。まずは、災害協定を締結している千葉県や日本水道協会に応援を要請することになるが、その要請を受けた各事業者に対し、工事店が派遣される流れとなっている。

## 議案第 25 号 令和 8 年度四街道市水道事業会計予算

全員賛成

令和 8 年度四街道市水道事業予算を議決するもの。

**質** 債務負担行為として、ウォーターPPP導入可能性調査業務委託で、限度額2,662万6千円を設定しているが、ウォーターPPPとは何か。

**答** ウォーターPPPとは、公共のインフラにおいて、官民が連携して事業を進める仕組みで、自治体が独自で運営する従来の方法とは異なり、民間企業のノウハウや資金力を活用することで、効率的かつ継続的な管理を実現することを目的としたものである。

議案第 27 号 令和7年度四街道市一般会計補正予算（第 8 号）

全員賛成

歳入歳出それぞれ449,634千円を追加し、40,420,942千円とするもの。

**質** 障害者自立支援給付事業2,826万8千円の増額理由について、詳細な説明を伺う。

**答** 当該事業について、自立支援医療費と障害児通所等給付費を増額補正するものであるが、令和7年度下半期における給付額が想定より多く、予算の不足が見込まれることから増額するものである。

**質** 保育所運営委託事業3億8,548万8千円の増額理由について、詳細な説明を伺う。

**答** 国において公定価格が引き上げられ、4月にさかのぼって適用されたため増額補正するものである。具体的な内容としては、人件費相当額が5.3パーセント程度引き上げられたことによるものである。

議案第 1 号 四街道市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

全員賛成

こども誰でも通園制度の運営基準を定めるもの。

**質** 現時点で22名の利用希望者がいるようだが、受け入れ可能な定員を上回る場合、どのような対応を図るか伺う。

**答** 国の『こども誰でも通園制度総合支援システム』を用いて、パソコンやスマートフォンで予約の上、利用することになっている。例えば、余裕活用型の場合、各事業所において定員に余裕がない場合、当該時間帯はシステム上で予約ができないように処理を行う。現状は十分な受け入れ態勢が整備されている。

議案第 10 号 四街道市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

令和7年度税制改正に伴う給与所得控除の見直しによる影響が、第1号被保険者の保険料段階に生じないよう改正するもの。

**質** 今回の改正の対象となる所得者層の人数を把握しているか。

**答** 詳細な人数は把握していないが、国からの通知において、全被保険者ベースで保険料収入が1パーセント程度減少する可能性があることから、今回の介護保険法施行令の改正が行われたと示されている。

議案第 22 号 令和8年度四街道市国民健康保険特別会計予算

全員賛成

令和8年度四街道市国民健康保険特別会計予算を議決するもの。

**質** 保健事業費一般事業の適正受診促進通知作成委託料99万円について、システム導入のための費用とのことだが、詳細を伺う。

**答** 医療費適正化の一環として、多剤投与や頻回受診が疑わしい人を対象に、今までは職員が抽出し、年に1回通知を送付していた。このシステムを導入することによって、レセプトデータ等を活用した月1回程度の抽出を行い、被保険者の健康保持・増進及び医療費の更なる適正化に係る案内通知を送付予定である。

## 予算審査特別委員会

議案第 21 号 令和 8 年度四街道市一般会計予算

賛成多数

令和 8 年度四街道市一般会計予算について、歳入歳出それぞれ 358 億 5 千万円とするもの。

**質** 標準財政規模に対する財政調整基金比率は、令和 8 年度末見込みで 20.74%にとどまる。財政の弾力性を取り戻すため、この比率を 25%台へと回復させ、健全な財政基盤を再構築すべきと考えるが 8 年度予算編成において、どのように具体的な道筋を検討されたか。

**答** 一般的に基金の適正な規模は、標準財政規模に対する財政調整基金及び市債管理基金の割合である、財政調整基金等残高比率から判断され、本市の財政調整基金等残高比率は、約 40%と、一般的な水準を上回っており、健全性を保った水準であると認識している。



## 議員発議案・陳情

発議案第 1 号 非核三原則の堅持を求める意見書の提出について

賛成多数

**質** 安全保障は国の専権事項であり、国から自治に関して意見がされかねない当該発議案を提出する理由は何か。

**答** 昨年、戦後 80 年・核兵器廃絶平和都市宣言 42 周年平和と文化のつどいにおいて、令和 6 年にノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会の代表委員である田中さんの講演がなされ、それを受けての提出とした。

発議案第 2 号 公用車に搭載されたカーナビにおける NHK 受信料の全額免除制度の創設を求める意見書の提出について

全員賛成

発議案の内容について、賛成すべき事項として意見はありませんでした。

令和 7 年 陳情第 8 号 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書

全員賛成

発議案第 3 号 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出について

全員賛成

令和 7 年陳情第 8 号及び教育民生常任委員会からの発議案の内容について、質疑・意見はありませんでした。

# 令和8年3月定例会議決結果一覧

本会議と委員会のいずれにおいても、出席した全議員が賛成した議案等  
(委員会審査を省略した議案を含む)

※議長は本会議の採決に、委員長は委員会の採決には加わりません(可否同数の場合を除く)

議案	議案番号	議案内容	議案種別	議員																
				芝崎剛介	ふじわらちかこ	加藤真裕	六田喜彦	大谷満子	阿部百合子	宮城そういち	飯井幸夫	石井潤一郎	岸本徳彦	田中芳律	成田清和	長谷川登美子	大越次郎	森本弘毅	関根登志夫	西塚義尊
議案	第1号	四街道市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	議案	第17号	市道路線の認定について															
	第2号	四街道市特定乳児等通園支援事業の利用者負担に関する条例の制定について		第18号	市道路線の廃止について															
	第3号	四街道市地区集会場設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について		第19号	財産の取得について															
	第4号	四街道市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について		第20号	四街道市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定の一部変更について															
	第5号	四街道市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について		第23号	令和8年度四街道市介護保険特別会計予算															
	第6号	四街道市手数料条例の一部を改正する条例の制定について		第26号	令和8年度四街道市下水道事業会計予算															
	第7号	四街道市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例及び四街道市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例の制定について		第27号	令和7年度四街道市一般会計補正予算(第8号)															
	第8号	四街道市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について		第28号	令和7年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)															
	第9号	四街道市下水道条例の一部を改正する条例の制定について		第29号	令和7年度四街道市介護保険特別会計補正予算(第3号)															
	第10号	四街道市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		第30号	令和7年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)															
	第11号	四街道市福祉作業所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		第31号	令和7年度四街道市水道事業会計補正予算(第2号)															
	第12号	四街道市児童遊園条例の一部を改正する条例の制定について		第32号	四街道市手数料条例の一部を改正する条例の制定について															
	第13号	四街道市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		第33号	令和8年度四街道市一般会計補正予算(第1号)															
	第14号	四街道市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		第34号	令和8年度四街道市水道事業会計補正予算(第1号)															
	第16号	四街道市青少年育成センター条例の一部を改正する条例の制定について		第35号	教育委員会教育長の任命について															
	発議案	令和7年			第2号	公用車に搭載されたカーナビにおけるNHK受信料の全額免除制度の創設を求める意見書の提出について														
第3号			保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出について																	
第8号			保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書																	

## 本会議において賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は本会議の採決には加わりません ※可否同数の場合は議長が裁決します			結果	芝崎剛介	ふじわらちかこ	加藤真裕	六田喜彦	大谷満子	阿部百合子	宮城そういち	飯井幸夫	石井潤一郎	岸本徳彦	田中芳律	成田清和	長谷川登美子	大越次郎	森本弘毅	関根登志夫	西塚義尊	戸田由紀子	石山健作		
議案	第15号	四街道市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成多数)	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第21号	令和8年度四街道市一般会計予算	原案可決(賛成多数)	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第22号	令和8年度四街道市国民健康保険特別会計予算	原案可決(賛成多数)	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	第24号	令和8年度四街道市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第25号	令和8年度四街道市水道事業会計予算	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案	第1号	非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	原案可決(賛成多数)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	

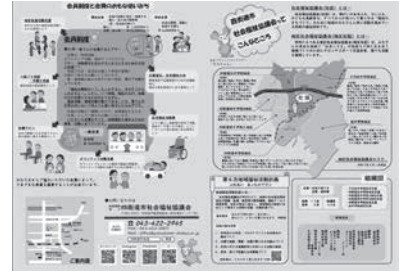
ギカイの豆知識：議決にはさまざまな種類があり、予算や条例などは「可決(否決)」、決算は「認定(不認定)」、専決処分は「承認(不承認)」、人事案件などは「同意(不同意)」、請願や陳情は「採択(不採択)」と呼び方が異なります。

# 議員勉強会 「地域共生社会の実現に向けて」及び「ふくしの総合相談窓口の現状と課題について」

【日 程】令和8年2月14日

【場 所】四街道市役所本庁舎4階第1、第2委員会室

全議員を対象とした議員勉強会を開催しました。誰もが自分らしく安心して暮らせる「地域共生社会」の実現をテーマに、本市の福祉施策に関する理解を深めました。



## 重層的支援体制整備事業

近年、人口減少や高齢化の進展、単身世帯の増加により、地域の支え合い機能が低下しています。本事業は、制度や分野の縦割りを越え、市民が抱える複雑化・複合化した課題を包括的に受け止めるための新たな体制づくりです。「断らない相談」と「参加できる居場所」についての研修を行いました。

## ふくしの総合相談窓口

どのような相談も「断らない」支援が行われています。さらに、相談対応だけでなく、社会参加を促す居場所づくりの実践が紹介されました。

## 市議会としての今後の意向

説明後には活発な質疑応答が行われ、関係機関が協働していく上での現場の課題や、支援のあり方について意見が交わされました。

市議会として、市民の皆様の小さな「つぶやき」を見逃さず、住民・行政・関係機関が互いの「のりしろ」を重ね合わせて支え合う、持続可能で温かいまちづくりを推進してまいります。



とただ  
問 い 質 す

## 代表質問・一般質問

会議録は市議会ホームページの「会議録」(令和8年5月公開予定)または市立図書館、市役所3階の情報公開室にてご覧ください。



議会中継

第1回(3月)定例会では5会派による代表質問と2人の議員による一般質問を行いました。詳細は市議会ホームページの「議会中継」から動画で視聴いただけます。



チャレンジみらい  
石井 幸夫

## 四街道を強く豊かに！



録画映像

**問** 鈴木市政の2期目に向けてどのような構想を抱きながら行財政運営を行っていくのか伺う。

**答** 今後4年間については、「笑顔つながりあう街四街道」を強く意識し、いつまでも住み良い街であるためにどう動いていくのか、今と未来への責任をどう果たしていくのかを追求し、便利さだけでなく、やさしさがあり、安心でき、誇りを持てるまちにしていく。そして、子どもから高齢者まで誰もが「このまちが大好き、このまちを選んで良かった」と実感できるよう、皆様とともに創っていく。その実現に向け、「つなぐ、つながりあう」ことをすべての政策の柱とする。行財政運営については、AIやデジタル技術を活用した改革、公共施設や上下水道の持続性を高め、広域連携を進めながら、世代や地域、多様な主体とつながりあい、そして未来へつなぐことを意識し、将来世代に負担を残さない持続可能な行財政運営を行っていく。

**問** 本市の全体像を見るため発生主義による財務書類はどのように活用しているのか伺う。

**答** 財務書類の作成により、現金主義の決算書では見えにくいコスト情報やストック情報を把握している。また、作成した財務書類や施設類型別の有形固定資産減価償却率の類似団体比較をまとめた財政状況資料集を市ホームページに掲載し、施設修繕等の予算編成の参考資料として活用している。今後も、財務書類が

ら得られる各指標の他団体との比較など、財政運営の参考として活用していく。

**問** 更なるシティセールスの推進に向け取り組み状況はどうなっているのか伺う。

**答** 全庁的なプロモーション意識の醸成を図るため、職員向けに研修を実施したほか、市民の皆様から動画を募集し、市公式SNSで発信するなど、インナープロモーションに取り組んだ。また、ものまね芸人の花香よしあきさんを市PR大使に委嘱し、ご本人の知名度や発信力を活かして、市の魅力を効果的に発信していただいた。

**問** 保育士の処遇改善に向け積極的な議論はなされているのか伺う。

**答** 保育士の処遇改善として保育士1人当たり月額2万6千円を補助する「保育士処遇改善事業」の更なる拡充について検討を重ね、令和8年度から補助額を月額3万円に引き上げることを考えている。





公明党  
大谷 満子

## 未来に希望をもつ子供たちのために！



録画映像

**問** 高額な処理費用がかかる給食の残菜の処理に、微生物の力で水と二酸化炭素に分解できる業務用コンポストを導入することへの市の見解を伺う。

**答** 業務用コンポストの設置については、設置スペース等の問題から、現在の給食施設へ設置することは難しいものと考えているが、残菜処理方法の一つとして調査研究する。



**問** 共働きの親御さんが7割以上といわれる現在、夏休みのこどもルームの開始時間について7時開所の導入の可能性について市の考えを伺う。

**答** 午前7時台の開所については、支援員等の人員の確保や、財政的な課題があり、代替手段としてファミリー・サポート・センターの利用や、児童の単独登所などがあることから、開始時間の変更は考えていない。

**問** こどもと親のミカタA I『よつえもん』について、孤立や不安の兆しを早期に察知し、必要な支援につなげる仕組みは構築されているか伺う。

**答** 実証実験では、A Iが相談対応をする中で、内容から人の支援が必要と考えられる場合には、連携協定事業者の専門職相談員が利用者に介入し、市や児童相談所等の関係機関につなぐ体制となっている。

**問** 四街道市手話言語条例が昨年10月に施行された。手話言語条例制定後の手話普及促進施策にはどのような計画があるか伺う。

**答** 令和8年度から、市政だよりにイラストを交えた手話を紹介する記事を定期的に掲載する予定である。また、例年実施している手話奉仕員養成講座に加え、手話に初めて触れる方を対象とした手話講習会の実施を計画している。今後も、関係団体と連携しながら、手話の普及及び理解の促進に努めていく。





新政  
戸田

由紀子

多様な主体と連携したまちづくり「みんなで」



録画映像

**問** 人と人をつなげ、みんなでつながり合うにはコーディネートが欠かせない。個人ではなく組織として機能することが必要であると考え、庁内体制の整備について伺う。

**答** 庁内の様々な部署との連携が不可欠である。地域共創部を中心に、多様な主体と行う事業の目的を庁内の様々な部署と共通理解を図ることが重要で、積極的に事業に参画する気質の醸成を進めてまいりたいと考える。

### 文化センターリニューアルと 賑わいの創出

**問** 駅前是人通りはあるが人が留まらない。駅から近い文化センターには、近隣自治体から訪れる人も多く人が集まる。リニューアルを機会に文化センターと北口広場と駅前商店会とで連携し、賑わいを創り出せないものか伺う。

**答** 文化センターのリニューアルは多額の費用を要し、長期間に及ぶ事業である。実施にあたっては、その政策効果を最大限に発揮させることが至上命題と思っている。歩いて楽しい街づくりを実現するため、市の中心部にある駅と文化センターを結ぶ通りの活用法を商店会の皆様と連携して検討を進めていく。

### 地域共生社会実現に向けた展望

**問** 社協に委託したふくしの総合相談窓口を活用して地域共生社会への取り組みが始まっている。更なる充実には行政の関わりが欠かせない。縦割りではなく、福祉・住まい・農業などとの連携・協働が求められているが展望を伺う。

**答** 地域共生社会の実現に向けては、第4次地域福祉計画や各種福祉計画、社会福祉協議会策定の第7次地域福祉活動計画の推進に、市が中心となり、市民の皆様、地域福祉関係者、保健・医療・教育等の関係機関、福祉サービス事業者及び社会福祉協議会等と連携を図りながら一歩ずつ取り組んでいくものである。また、ふくしの総合相談窓口の活用により、今まで以上に福祉以外の分野との連携も重要になると考えているところである。

### 認知症施策推進基本計画の策定

**問** 当事者及び家族の参画はいかがか伺う。

**答** 認知症施策推進計画は、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画第10期計画と一体的に策定を行う。認知症の方及び家族等の意見を聴くため、オレンジカフェの参加者等への聞き取り調査を行う予定である。



いづき  
飯豊 明久

## 平穏な暮らしを守り、誰もが輝ける四街道の未来



録画映像

### 外国籍児童への教育の質の保障

**問** 義務教育の段階にある外国籍児童に対し、公金を投じて教育を行う意義と市の考えを問う。

**答** 四街道市で暮らし学ぶすべての子どもたちが、国籍にかかわらず安心して教育を受けられる環境を整えることは、市としての重要な責務であると認識している。

子どもたちは未来を担う大切な存在であり、その成長を支えていくことは大きな意義を持つものである。

また、子どもの権利条約により、すべての子どもが教育を受ける権利があるとされていることから就学の段階で必要な支援を適切に行うことは、教育機会の確保と将来の自立に向けた基盤づくりとして極めて重要である。

### 「たかおの杜」周辺の騒音・暴走行為

**問** 夜間、一部車両による定常円旋回（ドーナツターン）、空ぶかし（コール行為）が発生し、騒音や路面の汚損が周辺住民の生活を脅かしている。市の現状把握と対策状況は。

**答** 市としても深刻な状況であると認識している。警察との連携に関しては、四街道警察署と情報共有のうえ、パトロールの強化について協力を求めている。物理的対策については今後の検討課題となっている。

### 職場環境の充実と人材育成

**問** 昨年8月に実施した市内アンケートの調査結果とそれを踏まえた今後の方向性は。

**答** 意識調査として実施した仕事や職場に関するアンケートでは、肯定的な回答が概ね6割から8割を占める結果となったが、一部の項目において、肯定割合が比較的低いものも見受けられた。ハラスメントに関するアンケートでは、約6割の職員がハラスメントの存在を認識しているという回答結果となった。

市の方向性としては、スピード感をもって取り組める対策を進めるとともに、より働きやすい職場環境の構築を目指した方策や、ハラスメントに関する、より専門的な相談体制の確立等について、検討を進める予定である。



**問** 和光市の「ハラスメント撲滅宣言」のようなトップの姿勢により職場環境が守られることは明白である。市長の考えを伺う。

**答** カスハラ、セクハラ、パワハラを含む全てのハラスメントはしない、させないということを徹底することが市政運営にとって必要と考えることから全力で取り組む。



政 まつりごと  
宮城 そういち

## 文化政策の将来ビジョンと拠点強化



録画映像

**問** 文化センターの大規模改修にあたり、施設更新だけでなく、市民の創作活動が日常的に行われる「人の集まる文化拠点」として、具体的な整備内容と運営方針により機能強化をどのように図るのか伺う。

**答** 今回の整備では、音楽やダンスをはじめとする多様な文化活動に対応できるよう、練習環境の充実を進める予定である。会館棟3階には、防音性能を強化し音響設備を常設した広さの異なる3つの多目的スタジオを新たに整備するとともに、ホール棟のリハーサル室及び練習室についても防音性能を強化することとしている。また、大ホールは舞台機構、音響、照明を一体的に更新するとともに設備のデジタル化を進め、舞台演出機能を強化する。これにより、市の文化振興拠点として機能強化を図る。

**問** 本市における文化芸術を生涯学習の枠を超え、都市の魅力向上や交流人口の拡大につながる政策分野として位置付け、市長部局も含めた横断的な視点で今後どのようにまちづくりに活かしていくのか伺う。

**答** 市教育委員会では、計画に基づく施策を展開し、文化振興を進めているところである。他市で、市長部局において文化政策を取り入れているところもあることから、参考となる事例については、市長部局と情報共有して必要な連携を図っていく。





無会派  
ふじわら ちかこ

## 多文化共生・教育・福祉の現場の課題について



録画映像

**問** 日本人住民の60%が、「外国人住民は日本・地域のルールがわからないこと」に困っていると回答し、不安を感じている。ルールを知らないまま生活している状態を改善すべき問題であると認識しているか。

**答** ルールを知らないまま生活している状態は、改善すべき問題であると認識している。

**問** 日本語が不十分な児童を入学後すぐに通常学級ではなく、初期指導教室を設けて段階的に受け入れるよう導入する考えはあるか。

**答** 他市において導入されている初期指導教室等の仕組みは、本市においても参考になるものと捉えている。

先進事例も各々実情に応じて展開をされていることから、本市の支援体制を一層整えていく観点か

らも、引き続き情報収集に努めるとともに、本市の実情に応じた初期指導の在り方について調査研究をしていく。

**問** 障がいのある方の親亡き後の不安に対し、支援体制をどう整備していくのか。

**答** 障がいのある方の「親なき後」の生活支援に対応するため、相談支援や緊急時の受入体制の確保などを目的とした地域生活支援拠点等の整備を進めている。令和8年3月1日時点で、拠点利用の登録を行った方は6名、拠点事業の実施登録を行った事業所は5事業所となっている。今後も対象者や家族への周知を図るとともに、対応可能な事業所の確保に努めるなど、地域生活支援拠点等の機能充実と利用促進に向けて取り組んでいく。



無会派  
阿部 百合子

## 憲法の理想の実現は教育の力に待つ 旧教育基本法



録画映像

**問** 総務省が全自治体に計画化を要請した、公共施設を少なくすることでの財政の効率性と学校教育の問題は、子どもを中心に考え、リンクさせず、分けて考えるのが基本ではないのか。

**答** 小学校のあり方について、子どもを中心とした視点での検討は、最も重要な事項であると捉えている。しかし、今後の少子化を見据えると統廃合の検討も必要と認識している。

**問** 下水道使用料を値上げしないよう一般会計からの繰り入れをしても良い基準に本市はなっているが、なぜそれをしないのか。

**答** 令和6年度に改定した経営戦略の投資財政計画では、基準内繰入である「分流式下水

道等に要する経費」の要件を満たし、繰り入れが可能となる。しかしながら、繰り入れを実施した経営を総合的に検討した結果、利益が見込めず更新事業の財源を企業債に依存することや、受益者負担の原則から外れることから、繰り入れを行わないこととした。

**問** 市役所会計年度任用職員の正規職員への道の基準作りは考えているか。

**答** 現在、会計年度任用職員経験者を対象とした選考は行っていない。しかしながら、市民が望む良質な行政サービスを提供していくためには、市政を担う優秀な人材を確保することが重要であると認識している。他自治体の取組事例などについて調査・研究していく。

## 正副議長就任あいさつ



坂本 弘毅 議長



西塚 義尊 副議長

市民の皆様には、日頃より議会活動に対しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちは、去る3月定例会において、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長の職を担うことになりました。

現在、本市では、激甚化・頻発化する自然災害への対策や、子育て支援、少子高齢化対策、医療・福祉サービスの充実、地

域経済の活性化といった行政課題を抱えているなかではありますが、同時進行的に次期ごみ処理施設の整備や公共施設の老朽化対策など、市の将来に多大な影響を及ぼす事業についても着実に歩みを進めていかなければなりません。

本市の財政状況は依然として厳しい状況にありますが、諸課題の解決に向けて行政と議会が創意工夫を重ね、本市の価値を高める施策を推進していくことが肝要であると考えております。

市議会といたしましては、市民の代表としてその負託と信頼に応え、議員相互の自由闊達な議論を展開し、魅力あるまちづくりのために最善を尽くす所存でございます。

結びに、市民の皆様のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

## 四街道市議会委員会名簿

委員会	定数	委員長	副委員長	委員	
議会運営委員会	8人	石山 健作	大越登美子	芝崎 剛介 六田 喜彦 岸本潤一郎	加藤 真裕 石井 幸夫 田中 徳彦
総務常任委員会	6人	成田 芳律	石井 幸夫	芝崎 剛介 大越登美子	田中 徳彦 坂本 弘毅
都市環境常任委員会	7人	関根登志夫	阿部百合子	ふじわらちかこ 長谷川清和 石山 健作	加藤 真裕 西塚 義尊
教育民生常任委員会	7人	岸本潤一郎	大谷 満子	六田 喜彦 飯豊 明久 戸田由紀子	宮城そういち 森本 次郎
広報広聴特別委員会	6人	成田 芳律	岸本潤一郎	加藤 真裕 宮城そういち	大谷 満子 飯豊 明久

# 議会報告会「社会福祉協議会との意見交換会」

【日 程】令和8年1月15日 10時～12時

【場 所】四街道市役所本庁舎4階第1委員会室

## 1. 社会福祉協議会事業概要

**社協の使命：**ともに生きる豊かな地域社会の創造を使命としている。住民の主体性やニーズに基づき伴走支援を行う。

**機能の拡充：**相談支援、権利擁護、災害支援、人材育成など、民間組織として地域の実情に応じた活動を強化。

**活動体制：**「基本要項2025」に基づき活動。市内6地区の地区社協と連携し、人材派遣や活動費助成を通じて地域に根差した支援を行っている。

## 2. 意見交換

支援の現状、制度の狭間にある課題、多文化共生、地域連携の4つの視点から質疑・意見交換を行った。

### 主な意見

- ・ダブルケアや「8050問題」など複合的な課題に対し、相談支援専門員やケアマネジャーが不足している。
- ・プラン作成が困難な現状がある。

- ・専門職同士が繋がっておらず、ニーズとのマッチングに課題がある。
- ・不登校や多世代にわたる問題が混在する家庭など、手が届かないケースが増加。
- ・成年後見制度の中核機関がない。
- ・ダリー語など母国語の読み書きが困難な層も増えており、言葉や文化の壁がある。

## 3. 意見交換のまとめ

### 断らない相談体制

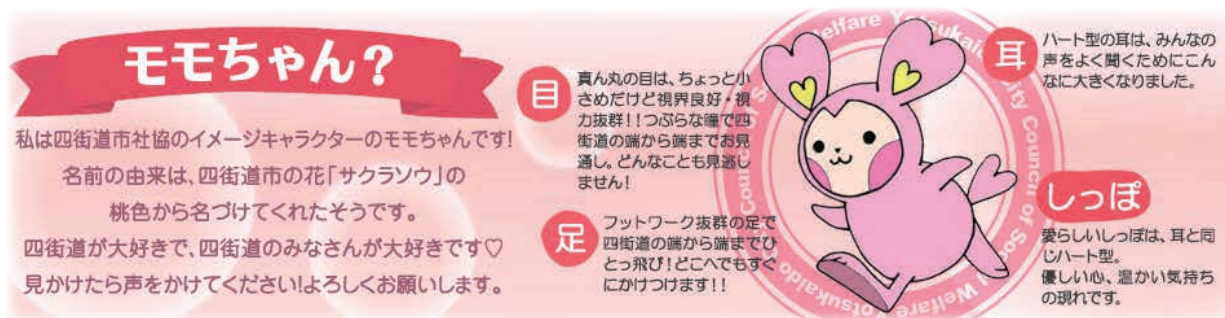
複雑化・深刻化するニーズに対して包括的な窓口機能を維持・向上させることが重要。

医療、介護、障がいなど、各分野を「横串」で刺すような連携システムがまだ不十分であり、情報交換会を通じたネットワーク構築が求められている。

## 4. 今後の対応

今回の意見交換会を受けて、市議会として意見の取りまとめ、市に対し、必要に応じ提言を行う。更に多方面の皆様の見解を計画的に何う活動を強化して参ります。

報告者： 広報広聴特別委員会



6月定例会は6月1日～24日(予定) 詳しくは二次元コードを読み取ってください。



会期日程

### 編集後記

今号も最後までお読みいただき感謝いたします。前号で紙面のデザインを刷新しましたが、大切なのは中身です。この2年間広報広聴特別委員の全員と、市民の皆様の切実な声に対し、議会でも議論されているのか、その内容を隠さず、わかりやすく伝えることに1番こだわってきました。

議会だよりのリニューアルに携われたことを誇りに思います。今後も皆様に市政を身近に感じていただける紙面であるよう、努めてまいります。

(ふじわら ちかこ記)

